

四国圏広域地方計画「基本的な考え方」の概要

<現状と課題>

自然の脅威の増大

- ・南海トラフ地震、風水害の激甚化など

人口減少、少子高齢化の深刻化

- ・地域の担い手不足や地域活力低下の懸念

地域の活力を生み出す新たな動き

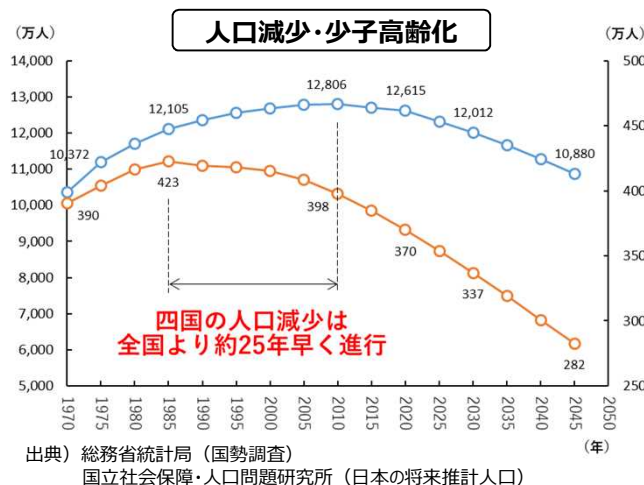
- ・まちづくりや移住促進など積極的な地域活動

個性ある地域の存在

- ・自然・歴史文化・食など個性ある地域資源

交流の弱さ

- ・圏域内外での人流・物流の弱さ



地域の活力を生み出す動き



空き家等を活用したサテライトオフィス誘致

個性ある地域資源



四国遍路とお接待

<将来像>

強くしなやかに
自然と共生する安全・安心な四国

人と地域が混ざり合い
新たな魅力を創造する四国

誰もが活躍し、
豊かに暮らせる四国

将来像の実現に
向けた基本戦略

- ①弱みを強みに変える
- ②多様性を活かし、連携による総合力を発揮
- ③多様な人材と多機能な施設
- ④四国ならではの豊かさの再認識

<目標>

南海トラフ地震
や風水害に
対応する
安全安心な四国
・巨大災害から生命と暮らしを確保
・インフラメンテナンス

気候変動対策や
自然環境の
保全・利活用により
自然と共生する四国
・2050年カーボンニュートル
・環境の保全・利活用

個性ある地域が
連携して活力
あふれる四国
・地域生活圏の
形成による生活の
質の維持向上

歴史・文化、
風土を活かした
交流・連携により
人をひきつける四国
・四国遍路などを活用
した地域活性化、観光
・国内外との交流促進

多様性が尊重され、
誰もが生き生きと
活躍する四国
・多様な生活の実現
・挑戦できる環境づくり
・地域の担い手の創出

地域産業の
成長と創出
により競争力を
発揮する四国
・DXやGX等を捉えた
地域産業の成長
・新産業の創出